

平成 22 年度 夜間部学校関係者評価（学校評議員用）

学校評議員の皆様から、懇談会での職員との意見交換を行った上で、自己評価の結果について評価していただきました。6 人の評議員の皆様からは、自己評価が【適切ならば 1、ほぼ適切ならば 2、やや不適切ならば 3、不適切ならば 4】と記入いただきました。

評価の観点 (到達目標)	自己評価の適切さ						改善策に対するご意見
	1	2	3	4	5	6	
①基礎学力の定着と単位 修得率の向上	1	1	1	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドリルの実施は、評価できます。短時間でも回数多く実施して欲しい。 ・ 苦勞多い様子が伝わってまいりました。
②進学及び就職などの進 路保障の一層の充実	1	1	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代にハンディがある中で、ご苦勞様だと思えます。 ・ 就職については大学（本学）も苦戦しております。
<p>その他本校通信制課程の教育活動について、ご意見をご記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心のかよった暖かな教育指導で、生徒を大きく育ててください。 ・ 様々な事情を持った生徒たちに対する、それぞれの個別指導は大変であろうと思えます。ご苦勞を重ねながらの必死の指導の様子が伝わりました。 ・ ご苦勞様です。学生たちのセーフティーネットとして、子どもたちを守ってくださっていることに感謝です。 							

平成22年度 松本筑摩高等学校(定時制課程夜間部)学校評価表

長野県筑摩高等学校定時制課程夜間部

1 目 標

夜間部教育目標	重点目標(中長期的目標)	総 合 評 価				
(夜間部教育目標) 1. 働きながら学べるというシステムを最大限生かし、就労・生活体験をもとに自己を見つめ、将来への確固とした展望をもたせる。 2. 集団に適應できる自律的訓練の場としての学校の機能を重視し、社会人としての基本となるルールや規範意識を身に付けさせる。 3. 地域社会に開かれた学校づくりに努めながら、生徒と教職員がともに研鑽し豊かな人間性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心して通学、学習できる環境の確立 ・生徒の置かれた状況をきめ細かく把握し、個々の相談に応じ支援する態勢の整備 ・学力と生活規律の基礎・基本の定着と単位修得率の向上 	・生徒の状況や様子は職員会議や連絡会など機会あるごとに報告がなされることにより情報が共有され指導の協力・連携につながった。ひとりの生徒の課題について、常に集団的な指導を心がけたのは非常に良かった。生徒の些細な変化、言動一層機敏に対応していく。				
	平成22年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と単位修得率の向上 ・進学および就職などの進路保障のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より1年を通して同一のドリルを実施し、基礎学力の定着と知識の習得をはかった。 ・本年度は3月に事業見学会に参加、人脈を開拓する点で効果的であった。また、新たにSSTを実施し大きな効果を上げた。 		○		・生徒の取り組みやテストの結果をみながら来年度への改善策等を考えていく。	

2 活動領域

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
教育 活動	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・二期制(分割認定)に関わる課題の検討 ・工業科目(選択)設置に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業日数は確保できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・短縮授業、授業カットを可能な限り削減した。年間行事予定表の作成にあたっては、各科目の授業時間が偏らないように調整した。 ・わずかではあるが修得率は減少した。 ・アンケート等でより一層要望をくみあげる必要がある。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・短縮授業や授業カットのさらなる見直し ・自己管理をした学校生活を送り安易に遅刻、欠席しないよう指導するとともに家庭との連絡を密にする。 ・各々の生徒の講座選択のためのていねいなガイダンスが必要
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目の検討 ・教科指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位修得者は増えたか ・科目に生徒の実態や要望にかなっているか ・生徒が積極的にとり組んだか 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が協力して指導したか ・生徒が意欲的に取り組んだか ・授業アンケートの実施と検討会等 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に出席率、参加態度は良かった。 ・生きるために必要なコミュニケーション力をつけるために「キャリア講座」を2回実施した。 		○	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々人の状況把握の強化、システム化 ・交通安全指導の実施 ・基本的な生活習慣の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人カードの作成、更新 ・通学方法を的確に把握し、*安全指導に役立てたか ・挨拶や上下履きの区別ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人カードを作成、更新し年度初めに全職員で情報を共有し、職員会議等でもその都度生徒の状況を報告し情報の共有をはかった。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は事故は減少したがさらに事故防止の啓発とこまめな指導。
教育 活動	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査の実施 ・進学、就職の情報提供 ・進路相談と進学、就職指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次にあった希望調査をしたか ・適切な情報提供ができたか ・個別に面接・作文・小論文指導など*の対応ができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業ガイダンスを2回、進路体験講座を実施した。 ・個別の面接・作文など指導が充実した。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・求人数が減ってきている中で、最初の就職試験への出願が正否を分けと考えると会社見学から出願の指導の充実が大切
	クラス運営	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒別の履修登録指導 ・SHR、LHR活動の充実 ・保護者懇談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位習得の実態に即し、*個別に対応できたか ・クラス・学年ごとの計画を立案したか ・保護者との連携を密にしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・履修指導では単位修得の状況に応じて個別に履修計画をたて対応できている。 ・保護者とは連絡を密にしているが、指導の連携は課題を残した。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・懇談週間以外にも個別の懇談を日常的にいっそうていねいな指導に努める。
	生徒会等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭発表展示の充実 ・諸行事運営方法の検討 ・部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が取り組んだか ・執行部、委員会が機能したか ・日常の練習・活動を効率的に行い、大会・文化祭で成果が発揮されたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭の取り組みは昨年と同様課題を残した。 ・柔道では全国大会や県大会へ出場した。練習も活発になり部活動は充実している。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの参加できる夜間部独自の取り組みを考える。
学 校 運 営	研修	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修のいっそうの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「多部制・単位制」の研究が深まったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育課程の編成について研修を行った。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も新たなテーマを設定し研修を深める。
	組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の適正化 ・「学校運営支援システム」活用の検討 ・書類、情報の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌の合理的な運営ができたか ・合理的・効率的な活用が実現できたか ・文書、データ等を効率よく管理できたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援システムにより生徒の学習の状況の把握が容易にできるようになった。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・システムの有効な使用法を考えていく。
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、中学校、地域への学校公開 ・事業所・企業主との連携 ・学校評議員会との協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に公開でき、理解を深められたか ・事業所訪問や広報活動ができたか ・意見交換の場を設けられたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開のアンケートでは学校のことがよく分かった、わかりやすく楽しかった等の感想がよせられた。一般の参加がなかった。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開・説明会をさらに工夫したい。